あさひかわ 国語

〔文や文章㉔〕　正しく引用しよう①　小学校四年生以上

1　たくみさんは、【集めた情報】をもとに、「カブトムシをさがす場所」について考えたことを書きました。【集めた情報】を正しく引用して書いているものを、一つえらびましょう。

【集めた情報】

本の題名　「こん虫のひみつ」

本の一部　カブトムシの成虫は、主に樹液（じゅえき）を吸（す）って暮（く）らしている。

ア　「こん虫のひみつ」には、カブトムシの成虫は樹液を吸うと書いてある。このことから、木がたくさんある場所でさがすとよい。

イ　「カブトムシの成虫は、主に樹液を吸って暮らしている。」と書いてあるので、木がたくさんある場所でさがすとよい。

ウ　「こん虫のひみつ」という本には、「カブトムシの成虫は、主に樹液を吸って暮らしている。」と書いてある。このことから、木がたくさんある場所でさがすとよい。

エ　カブトムシは、樹液を吸って暮らしているから、木がたくさんある場所でさがすとよい。

□

2　さちさんは、本「海と生きもの」から文章を引用して、自分の考えを書きました。

【さちさんが 書いた文】

「海と生きもの」には、海にすてられたプラスチックゴミを魚やウミガメがあやまって食べてしまっていると書いてある。また、プラスチックゴミは海で何十年も残り続けるとも書かれている。このことから、私たちはゴミを正しく捨てて海を守る努力をしなければならないと考えた。

さちさんの文には、引用のルールで足りないところがあります。直すとよい点を、次の中から一つえらびましょう。

直すところ

ア　本からぬき出した部分を、相手の分かりやすい言葉に書き直す。
イ　本からぬき出した部分が分かるように、かぎ（「」）でくくる。
ウ　引用する文を、一つにする。
エ　引用するときに、本の題名は必要ないから消す。

□

あさひかわ
国語

〔文や文章㉕〕　正しく引用しよう②　小学校五年生以上

1　ゆうきさんは、「米と日本人のくらし」について考えたことを書くことにしました。そこで、次のような情報を集めました。

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
米の歴史と工夫	日本では、縄文時代の終わりごろから米作りが始まり、大昔から主食として育てられてきた。
米ができるまで	お米が収穫できるまでには、約八か月間の手間と時間がかかる。
パンと世界の食文化	朝食にパンを食べる家庭が増えており、主食の種類は多様化している。
日本人の食生活	日本人の約八割が、ほぼ毎日米を食べている。

ゆうきさんは、【集めた情報】をもとに、「米は昔から今まで、日本人の食生活を支えてきた大切な食べ物である」という考えを主張することにしました。

ゆうきさんの考えの根拠としてふさわしい資料を二つ選び、次の条件に合わせて文章を書きましょう。

条件

- 【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
- ぬき出した本の題名と本文の一部の内容は、かぎかっこ（「　」）でくくること。
- 「このことから、米は昔から今まで、日本人の食生活を支えてきた食べ物なのだと考える。」という文につながるように文章を書くこと。

選ぶ本

このことから、米は昔から今まで、日本人の食生活を支えてきた食べ物なのだと考える。

あさひかわ
国語

〔文や文章㉖〕　考えと資料を結び付けよう　小学校五年生以上

1　えみさんは、資料を引用して自分の意見を主張しようとしています。（　　）に入る最もふさわしい文を、次の中から一つえらびましょう。

地いきのアンケートには、「公園のベンチが足りないと感じている人が七十％いる」と書いてあります。（　　）

ア　このことから、公園のゴミばこを増やすべきだと思います。
イ　このことから、みんなが座れるベンチを増やす工夫が必要だと思います。
ウ　このことから、ベンチに座るのを禁止にするルールが必要だと思います。
エ　このことから、公園で遊ぶ人を減らすべきだと思います。

2　さくらさんは、資料を引用して自分の考えを説明しようとしています。引用する情報として最もふさわしいものを一つえらびましょう。

アンケート結果を見ると、（　　）。ですから、みんなが朝ごはんをしっかり食べて登校できるような呼びかけをしたいです。

ア　「『朝ごはんを食べてこないことがある』と答えた人が、二十％いました。」
イ　「『朝ごはんには、パンよりもごはんが食べたい』と答えた人が、二十％いました。」
ウ　「『朝ごはんをしっかり食べて登校している』と答えた人が、全体の八割いました。」
エ　「『給食を全部残さず食べている』と答えた人が八十五％いました。」

3　りくさんは、資料を引用して自分の考えを説明しようとしています。引用する情報として最もふさわしいものを一つえらびましょう。

地いきの清掃活動に関する調査によると、（　　）。このことから、より多くの人が参加しようという気持ちになるポスターや案内を作るとよいと考えます。

ア　「清掃活動で使う道具が古くなっている」そうです。
イ　「地域の清掃活動の場所が遠くて行きにくいと感じている人が六十％いる」そうです。
ウ　「地域の清掃活動に参加したことがある小学生は三十％にとどまっている」そうです。
エ　「地域の清掃活動で集めるゴミの量が毎年増えている」そうです。

あさひかわ
国語

〔文や文章㉗〕 文章の構成① 小学校五年生以上

左に国語の学習活動で書かれた二つの文章があります。【文章A・B】を読んで、あとの問題に答えましょう。

一　それぞれの文章の種類とその特徴を表した説明を正しく結びましょう。

【文章A】

わたしは、「車のひみつ図鑑」という本をおすすめします。この本には、普段は見られない車の内部の様子が、本物そっくりなイラストで分かりやすく説明されています。機械の仕組みに興味がある人は、ぜひ読んでみてください。

【文章B】

最近、図書館で、本が元の場所に戻されていなかったり、破れていたりする問題があります。そこで、「本を大切に運動」を提案します。本を借りたり、読んだりするときは、「本を両手で持つこと」と「元の場所へ正しく戻すこと」を意識しましょう。気持ちよく図書館を使えるよう、みんなで気をつけましょう。

【文章A】・　・推薦する文章・　・提案する文章・　・解説する文章・

・事実を分かりやすく説明する文章
・問題点や課題を解決する方法を伝える文章
・そのもののよさを伝えておすすめする文章

【文章B】・

二　学級の「自分の好きな本」を読んでもらうために、【文章A】をさらによくしたいと考えました。本のよさがより伝わるように、＿＿線部の前に、文章を書き加えるとしたら、次のうち最もふさわしいものはどれですか。

①ぼくは、おじさんからこの本を誕生日に買ってもらいました。

②わたしが一番おどろいたのは、大きなトラックがどのように動くのかを解説したページです。

③本は、図書室の窓際の、右から二番目の棚においてあります。

④だから、図書室に行くときは、走らずにろう下を歩くようにしましょう。

あさひかわ
国語

〔文や文章㉘〕 文章の構成② 小学校五年生以上

ヒント

推薦（すいせん）する文章：そのもののよさを伝えておすすめする文章

提案（ていあん）する文章：問題点や課題を解決する方法を伝える文章

一　図書委員のハルトさんは、次のカードを書きました。ハルトさんのカードを読んで、あとの（　　）に入る言葉を【言葉ボックス】から選んで書きましょう。

【カード①：おすすめの本】

ぼくのおすすめの本は「エルマーのぼうけん」です。ハラハラする場面がたくさんあって、最後まで一気に読むことができます。ぜひ、みなさんも読んでみてください。

【カード②：読書月間のお知らせ】

図書室の利用者を増やすため、毎週ひとり一冊本を借りる「読書月間」を始めます。みなさん進んで図書室に行くようにしましょう。

【カード①】は、本の（　　）を伝えるための文章なので、（　　）する文章です。

【カード②】は、みんなに取り組んでほしい（　　）を呼びかける文章なので（　　）する文章です。

【言葉ボックス】

行動　・　よさ　・　提案(ていあん)　・　推薦(すいせん)

二　次の（　　）に入る、文章の目的に合ったふさわしい言葉を選んで記号を書きましょう。

・**「推薦(すいせん)する文章」**の最後

「この本は、読むと心が温かくなります。みなさんも（　　）。」

【ア：ぜひ読んでみてください　イ：図書室をきれいに使いましょう】

・**「提案(ていあん)する文章」**の最後

「ろう下は右側を歩いた方が安全です。今日からみんなで（　　）。」

【ア：おすすめします　イ：右側を歩くようにしましょう】

あさひかわ 国語

〔文や文章㉙〕 文章の構成③

小学校五年生以上

提案する文章を書こう

サクラさんは、保健委員会で活動しています。最近、手を洗った後にハンカチで手をふいていない人が多いと感じています。手を洗った後にきれいなハンカチで手をふいて、手を清潔にすることは、病気を防ぐことになります。そこで、保健委員会で「ハンカチチェック」の取組を提案しようと考えました。サクラさんは、みんなに分かりやすく提案するために、まず、次のようなメモを作成しました。

一　サクラさんは、どのような問題があると考えて、「ハンカチチェック」の取組を提案しようとしていますか。サクラさんのメモの「①〈問題点〉」の中に書きましょう。

サクラさんのメモ

①〈問題点〉	②〈提案する取組〉 ハンカチチェック
③〈取組の方法〉 毎朝、保健委員会がハンカチチェックをするので、新しいハンカチを持ってくる。	④〈呼びかけ〉 みんなが健康で気持ちよくすごせる。

二　サクラさんのメモの内容（①～④）を全て使って、提案する文章を書きましょう。

あさひかわ 国語

〔文や文章㉚〕 同訓異字・同音異義語3 中学校一年生以上

生徒会役員である森さんは、生徒会が行っている「地域見守り活動」について、地域に配布する案内文を、AIを活用して作成し、点検しているところです。

【案内文】

地域の皆様

地域安全見守り活動の実施について

大雪中学校生徒会では、５年間、校区の安全・安心なまちづくりのために「ふるさと祭り」での見守り活動を実施してきました。今年は地域の皆様と共同で実施する方法に換え、さらに例年よりも見守りの対称を広げることにしました。そこで、地域の皆様のボランティアを募り、下記の通り「地域安全見守り活動」を実施しようと考えています。つきましては、ボランティアで活動に協力していただける地域在住の方を募集します。ご協力いただける方は、下記の二次元バーコードより解答していただくか、学校（00-0000　担当：○○）まで連絡をいただけますよう、お願いいたします。

記

１　期　　間　１０月１０日～１０月２１日（１０日間）
２　時　　間　１７時～１８時

1　森さんは、上の【案内文】の中の「対称」は変換の間違いではないかと考え、辞書で漢字の意味を調べてみました。正しい変換とその意味の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

①　対称―ある中心や線に対して、釣り合いが取れて同じ形・配置になっていること。
②　対象―目的や行動の向き先となる人・もの。
③　対照―二つのものを突き合わせて、違いや対比を際立たせること。

［　　］

2　上の【案内文】にはあと二カ所、漢字の変換の間違いがあります。正しく直し、意味の違いも調べて書きなさい。

間違い【　　】→正【　　】
・【意味の違い】

間違い【　　】→正【　　】
・【意味の違い】

【応用編】

3　例にならい、同訓異字または同音異義語を選ぶ二択問題を一つ考え、その答えも示しなさい。

（例）【問題】試合はいがいな展開になった。　A―以外　・B―意外　【答え】B

【問題】

A―　　・B―

【答え】

あさひかわ
国語

〔表現の技法⑦〕　擬態語　　中学校一年生以上

次のイラストは、図書委員の中本さんと、クラスメイトの吉田さんが、図書室で話をしている場面と、その会話文です。また、下の枠内は、吉田さんと中本さんが会話をしたときの様子を説明したものです。これらを見て、あとの問に答えなさい。



①「あ、あった。この本だよ。」
吉田さんは、本棚から**いそいそ**と本を取り出した。
②「よかった。また、読みたい本があったら、いつでも気軽に声をかけてね。」
中本さんは**にこにこ**と言った。

問一　①の文の中で使われている「いそいそ」という言葉は、吉田さんのどのような気持ちや様子を表していると考えられますか。吉田さんの気持ちや態度（動作）に触れて、具体的に説明しなさい。

問二　②の文の中で使われている「にこにこ」という言葉の効果について、次の条件に従い具体的に説明しなさい。

条件①　中本さんの「にこにこ」という言葉が、中本さんのどのような表情や気持ちを表しているかを書くこと。

条件②　「一語で」という言葉を使うこと。

問三　空欄に擬態語を入れ、文を完成させなさい。また、周りの人とお互いの文を読み合い、擬態語によって生まれる印象や様子の違いについて話し合ってみましょう。

ア　「あ、あった。この本だよ。」吉田さんは、中本さんから（　　）と本を受け取った。

イ　「また、読みたい本があったら、いつでも気軽に声をかけてね。」中本さんは（　　）と言った。

ウ　「ありがとう」と言うと、吉田さんは（　　）と頭を下げて、カウンターへ向かった。

あさひかわ国語

〔表現の技法⑧〕擬音語・擬態語

中学校一年生以上

補足プリント

擬音語とは・・・実際に聞こえる「声」や「音」を文字で表した言葉です。

- 時計がチクタク動く。（物の音）
- 犬がワンワン吠える。（動物の声）
- 雷がゴロゴロ鳴る。（自然の音）

特徴と効果：擬音語の大きな効果は、「臨場感（その場にいるような感じ）を伝えること」です。耳で聴いた音の響きをそのまま言葉にしているため、相手の頭の中に「実際の音」を直接響かせ、場面の様子をリアルに再現することができます。

擬態語とは・・・物事の「様子」や「動き」、「心の状態」などをたとえて表した言葉です。

- 星がきらきら光る。（様子）
- 結果が気になって廊下をうろうろする。（動き）
- テストの前に胸がドキドキする。（心の状態）

特徴と効果：擬態語を用いることで、「目に見えない心の状態」や「心の中の感覚」をわかりやすく人に伝えることができます。現象や抽象的な気持ちを、リズムをもつ言葉に置き換えることで、相手に感覚的にイメージさせる効果があります。

まとめ

- 中学校の国語では、単にこれらを見分けるだけでなく、文章の中で使われたときの**表現上の効果**を理解することがとても大切になります。
- 擬音語や擬態語の最大の強みは、「話している人の口調（声の調子）や顔つき、態度、音や声といった様々な要素を、たった一語でまとめて、相手に直感的に伝えられること」です。

練習① 次のアからウの傍線部の言葉について、擬音語なら**音**、擬態語なら**態**と答えましょう。

ア　吉田さんは、見つけた本を嬉しそうにばらばらとめくって眺めた。（　　）

イ　図書館の窓の外では、秋の風がビュウビュウと吹いている。（　　）

ウ　静かな待合室に、誰かが咳をするゴホゴホという音が響いた。（　　）

練習② 次のアからウの（　　）に入る擬音語や擬態語を考え、それぞれの雨の降り方に合う言葉を書きましょう。

ア　雨が（　　）降る。【激しく降る様子】

イ　雨が（　　）降る。【弱い雨が静かに降る様子】

ウ　雨が（　　）降る。【雨がまばらに、少しずつ降る様子】

練習①　ア　態　イ　音　ウ　音　　練習②　ア　ざーざー　イ　しとしと　ウ　ぱらぱら

あさひかわ
国語

〔言葉づかい⑩〕　正しい言葉の使い方　　中学校二年生以上

「ら抜き言葉」…動詞の形を変えて「～できる」という可能の意味にするときに、「ら」を抜かしてしまう言い方。（例）「起きれる」→「起きられる」の「ら抜き言葉」。

1　右の説明文中の「起きられる」を説明したものとして最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号を書きなさい。

ア　「起きられる」という動詞である。
イ　「起きる」という上一段活用の動詞と、「られる」という動詞でできている。
ウ　「起きる」という上一段活用の動詞と、「られる」という助動詞でできている。
エ　「起きる」という上一段活用の動詞と、「られる」という助詞でできている。
オ　「起きる」という五段活用の動詞と、「られる」という助動詞でできている。

□

2　次の求人広告を見て、あとの①・②に答えなさい。

レストラン「○▲□」店
ホール・キッチンスタッフ急募！

「○▲□」で私たちと一緒に働きませんか？

応募資格	18歳以上　男女・経験不問
時給(平日)	15：00～22：00　1200円
時給(土日祝)	15：00～22：00　1250円

・曜日や時間も応相談可。平日は17時までにお店に来れる方を優先的に採用します。　土日祝日出れる方、大歓迎！
・学生さん大歓迎。将来接客業に就きたい方、接客の基本技術が知れます！
・料理が好きな方、包丁を使って食材を素早く切れる方、大歓迎！
・まかないも食べれます！

連絡先　012-3456-7890（担当：田中）

※当店では、公式アプリ内でデリバリーサービスを行っています。自動車免許をお持ちで、配達に行ける方、大歓迎です。

①「ら抜き言葉」をすべて探し、正しい表現に直しなさい。

ら抜き言葉	正しい表現

②右の求人広告中の「行ける」は、不自然な表現になっています。適切な表現に直すとともに、なぜ不自然なのかについて、自分の考えを書きましょう。

適切な表現	
自分の考え	